学校コード F117310105497
注３

設置年度　令和　2年度

計画の区分：　学部の学科の設置
注１

届出

注2
金沢学院大学　経済学部　経営学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金沢学院大学
令和４年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名
職名・氏名　企画部参事　石川　温
電話番号　076-229-8892
（夜間）　076-229-8892
ｅ－mail　kikaku@kanazawa-gu.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

経済学部

＜経営学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人金沢学院大学

（２）大　学　名

金沢学院大学

（３）調査対象大学等の位置

〒９２０－１３９２
石川県金沢市末町１０の５番地の１

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（アキヤマ　ミノル） 秋山　稔 （平成２９年１月）		
学　　長	（アキヤマ　ミノル） 秋山　稔 （平成２５年４月）		
学 部 長	（タカハシ　ヒロシ） 高橋　啓 （令和２年４月）	（トヨダ　キンゴ） 豊田　欣吾 （令和４年４月）	令和4年4月1日付で学部長任期満了により変更（４）
学科長等	（オオノ　タカヒロ） 大野　尚弘 （令和２年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和３年度に報告済の内容　→（３）
令和４年度に報告する内容　→（４）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和４年度の履行状況報告書の提出について（依頼）を確認してください）。
・　様式は、平成３０年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和４年度までの５年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経済学部 経営学科 学士（経営学）	経済学関係	4 年	70 人	3年次 5 人	290 人	新規入学者を募集中	令和4年4月より入学定員60名→70名に変更（４） 経営情報学部 経営情報学科

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 — （ — ） [—]	人	人 — （ — ） [—]	人	人 60 （ — ） [—]	人	人 60 （ — ） [—]	人	人 70 （ 5 ） [—]	人	1.31倍	—	
志願者数	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	312 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	289 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	332 （ 1 ） [—]	— （ — ） [—]			
受験者数	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	305 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	282 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	322 （ 1 ） [—]	— （ — ） [—]			
合格者数	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	113 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	158 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	242 （ 1 ） [—]	— （ — ） [—]			
Ｂ　入学者数	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	— （ — ） [—]	77 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	77 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	96 （ 1 ） [—]	— （ — ） [—]			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	—		—		1.28		1.28		1.37				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（　））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次					75 [—] (—)	— [—] (—)	77 [—] (—)	— [—] (—)	96 [—]	— [—]	
２年次							73 [—] (—)	— [—] (—)	79 [—] (2)	— [—] (—)	
３年次									72 [—] (—)	— [—] (—)	編入学生 1
４年次											
計	[　　] (　　)		[　　] (　　)		75 [—] (—)		150 [—] (—)		247 [—] (2)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成30年度	― 人	― 人	平成30年度	― 人	― 人	
令和元年度	― 人	― 人	平成30年度	― 人	― 人	
			令和元年度	― 人	― 人	
令和2年度	77 人	2 人	平成30年度	― 人	― 人	
			令和元年度	― 人	― 人	
			令和2年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1)、その他(1)
令和3年度	152 人	0 人	平成30年度	― 人	― 人	
			令和元年度	― 人	― 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	247 人	2 人	平成30年度	― 人	― 人	
			令和元年度	― 人	― 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2)
			令和4年度	0 人	0 人	
合　計		4 人		4 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = ― / ― = #VALUE! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = ― / ― = #VALUE! %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 2 / 77 = 2.59 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 0 / 152 = 0 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 2 / 247 = 0.8 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜経済学部　経営学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	修学基礎科目	学修基礎Ⅰ	1前	2			4	4				
		学修基礎Ⅱ	2前	2			4	4				
		コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前		2		1					
		小計（３科目）	―	4	2		4	4				
	人文・社会・自然科学科目	哲学Ⅰ	1前		2							兼1
		哲学Ⅱ	1後		2							兼1
		社会学Ⅰ	1前		2							兼1
		社会学Ⅱ	1後		2							兼1
		法学（日本国憲法）	1後		2							兼1
		心理学の基礎	1前		2							兼2
		経済学概論	1前		2							兼1
		一般数学	1前		2							兼1
		自然科学概論Ⅰ	1前		2							兼1
		自然科学概論Ⅱ	1後		2							兼1
		小計（10科目）	―		20							兼8
	語学科目	英語Ⅰ	1前	2								兼3
		英語Ⅱ	1後	2								兼3
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2			1				
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2			1				
		総合英語Ⅰ	2前		2							兼1
		総合英語Ⅱ	2後		2							兼1
		小計（６科目）	―	4	8			1				兼4
	スポーツ科学科目	スポーツ科学	1前		2							兼1
		小計（１科目）	―		2							兼1
	キャリア科目	FSP講座	1前		2		2	1				
		キャリアデザインⅠ	1後	2			1	2				兼1
		キャリアデザインⅡ	2前	2			1	2				兼1
		キャリアデザインⅢ	2後	2			1	2				兼1
		キャリアプランニングⅠ	3前	2			2	1				兼1
		キャリアプランニングⅡ	3後		2		2	1				兼1
		就業体験（インターンシップ等）	1～4通		1		1					
		ボランティア体験	1～4通		1							兼1
		小計（8科目）	―	8	6		4	4				兼2
教養科目　計（28科目）			―	16	38		4	4				兼15
専門科目	専門必修科目 基礎科目	経営学基礎Ⅰ	1前	2			1	1				兼1
		会計学基礎Ⅰ	1前	2				3				
		現代経済論Ⅰ	1前	2								兼1
	専門必修科目 展開科目	基礎演習Ⅰ	3前	2			3	3				
		基礎演習Ⅱ	3後	2			3	3				
		演習Ⅰ	4前	2			3	3				
		演習Ⅱ	4後	2			3	3				
		小計（７科目）	―	14			3	3				兼2
	専門選択科目 基礎科目	プログラミング基礎	1前		2							兼1
		経営学基礎Ⅱ	1後		2		1					兼1
		会計学基礎Ⅱ	1後		2			2				
		情報マネジメント基礎Ⅰ	1後		2							兼1
		現代経済論Ⅱ	1後		2							兼1
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後		2		1					
		統計基礎	1後		2							兼1
		経営管理論Ⅰ	2前		2		1					
		経営管理論Ⅱ	2後		2		1					
		マーケティング論 Ⅰ	2前		2		1					
		マーケティング論 Ⅱ	2後		2		1					
		ミクロ経済学Ⅰ	2前		2							兼1
		マクロ経済学Ⅰ	2前		2							兼1
		日本経済史	2前		2							兼1
		世界経済史	2後		2							兼1
		まちづくり論	2前		2							兼1
		財務会計Ⅰ	2前		2			1				
		商業簿記Ⅰ	2前		2			1				
		商業簿記Ⅱ	2後		2			1				
		原価計算Ⅰ	2前		2			1				
		原価計算Ⅱ	2後		2			1				
		税法基礎	2後		2		1					
		税務会計Ⅰ	3後		2			1				
		ビジネス英語Ⅰ	3前		2							兼1
		ビジネス英語Ⅱ	3後		2							兼1

【令和４年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	修学基礎科目	学修基礎Ⅰ	1前	2			0	1	2			兼3
		学修基礎Ⅱ	2前	2			1	1	0			兼3
		コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前		2		0					兼4
		小計（３科目）	―	4	2		1	2	2			兼10
	人文・社会・自然科学科目	哲学Ⅰ	1前		2							兼1
		哲学Ⅱ	1後		2							兼1
		社会学Ⅰ	1前		2							兼1
		社会学Ⅱ	1後		2							兼1
		法学（日本国憲法）	1後		2							兼1
		心理学の基礎	1前		2							兼1
		経済学概論	1前		2							兼1
		一般数学	1前		2							兼1
		自然科学概論Ⅰ	1前		2							兼1
		自然科学概論Ⅱ	1後		2							兼1
		小計（10科目）	―		20							兼8
	語学科目	英語Ⅰ	1前	2								兼6
		英語Ⅱ	1後	2								兼6
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2			0				兼1
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2			0				兼1
		総合英語Ⅰ	2前		2							兼1
		総合英語Ⅱ	2後		2							兼1
		小計（６科目）	―	4	8			0				兼8
	スポーツ科学科目	スポーツ科学	1前		2							兼3
		小計（１科目）	―		2							兼3
	キャリア科目	FSP講座	1前		2		0	0	1			兼4
		キャリアデザインⅠ	1後	2			0	1	2			兼4
		キャリアデザインⅡ	2前	2			1	1	0			兼4
		キャリアデザインⅢ	2後	2			1	1	0			兼4
		キャリアプランニングⅠ	3前	2			1	0	1			兼2
		キャリアプランニングⅡ	3後		2		1	0	1			兼2
		就業体験（インターンシップ等）	1～4通		1		1					
		ボランティア体験	1～4通		1							兼1
		小計（8科目）	―	8	6		1	2	2			兼9
教養科目　計（28科目）			―	16	38		3	2	2			兼28
専門科目	専門必修科目 基礎科目	経営学基礎Ⅰ	1前	2			1	0				兼0
		会計学基礎Ⅰ	1前	2				2	1			
		現代経済論Ⅰ	1前	2								兼1
	専門必修科目 展開科目	基礎演習Ⅰ	3前	2			2	2	2			
		基礎演習Ⅱ	3後	2			2	2	2			
		演習Ⅰ	4前	2			2	2	2			
		演習Ⅱ	4後	2			2	2	2			
		小計（７科目）	―	14			3	2	2			兼1
	専門選択科目 基礎科目	プログラミング基礎	1前		2							兼1
		経営学基礎Ⅱ	1後		2		1					
		会計学基礎Ⅱ	1後		2			2	1			
		実践簿記Ⅰ	1前		4				1			
		実践簿記Ⅱ	1後		8				1			
		情報マネジメント基礎Ⅰ	1後		2							兼1
		現代経済論Ⅱ	1後		2							兼1
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後		2		0					兼4
		統計基礎	1後		2							兼1
		持続可能な発展論	1後		2							兼1
		経営管理論Ⅰ	2前		2		1					
		経営管理論Ⅱ	2後		2		1					
		マーケティング論 Ⅰ	2前		2		1					
		マーケティング論 Ⅱ	2後		2		1					
		ミクロ経済学Ⅰ	2前		2							兼1
		マクロ経済学Ⅰ	2前		2							兼1
		日本経済史	2前		2							兼1
		世界経済史	2後		2							兼1
		まちづくり論	2前		2		0					兼1
		財務会計Ⅰ	2前		2		1	0				
		商業簿記Ⅰ	2前		2			1				
		商業簿記Ⅱ	2後		2			1				
		原価計算Ⅰ	2前		2			1				
		原価計算Ⅱ	2後		2			1				
		税法基礎	2後		2		1					
		税務会計Ⅰ	3後		2		1	0				
		ビジネス英語Ⅰ	3前		2							兼1
		ビジネス英語Ⅱ	3後		2							兼1

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	専門選択科目	展開科目	経済数学	1後		2							兼1
			プログラミング	1後		2							兼1
			経営科学Ⅰ	2前		2							兼1
			経営科学Ⅱ	2後		2							兼1
			情報マネジメント基礎Ⅱ	2前		2							兼1
			ミクロ経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			財務会計Ⅱ	2後		2			1				
			マクロ経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			観光と経済	2後		2							兼1
			公共経済学	2後		2							兼1
			労働経済学	2後		2							兼1
			計量経済学Ⅰ	2前		2							兼1
			計量経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			ゲーム理論	3前		2							兼1
			経営組織論	3前		2		1					
			組織行動論	3後		2		1					
			人的資源管理	3後		2							兼1
			消費者行動論	3前		2		1					
			ビジネス戦略	3前		2		1					
			地域経済論	3前		2							兼1
			国際経済	3後		2							兼1
			金融論	3前		2							兼1
			財政学	3前		2							兼1
			産業組織論	3前		2							兼1
			経済政策論	3前		2							兼1
			地域振興論	3前		2							兼1
			都市と文化	3後		2							兼1
			政治学	3後		2							兼1
			地域金融を考える	3後		2							兼1
			経営分析	3前		2			1				
			企業価値評価	3後		2			1				
			管理会計	3後		2			1				
			商法Ⅰ	3前		2							兼1
			商法Ⅱ	3後		2							兼1
			税法	3前		2		1					
			ビジネス・ケーススタディ	3後		2		2	2				
			北陸経済産業論	4前		2							兼1
			マーケティング・リサーチ	4前		2		1					
			流通論Ⅰ	4前		2		1					
			流通論Ⅱ	4後		2		1					
			コーポレートファイナンスⅠ	4前		2			1				
			コーポレートファイナンスⅡ	4後		2			1				
			監査論	4後		2							兼1
			税務会計Ⅱ	4前		2			1				
		小計（69科目）		―		138		4	3				兼17
	専門科目計（ 76科目）				14	138		4	3				兼17
合計（ 104科目）				―	30	176		5	3				兼28

卒業要件及び履修方法

教養科目の必修科目から16単位、教養科目の選択科目から16単位以上、専門科目の必修単位から14単位、専門科目の選択科目から82単位以上を修得し、合計128単位以上修得しなければならない。
なお、年間の履修科目の登録の上限は原則48単位とする。

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	専門選択科目	展開科目	経済数学	1後		2							兼1
			プログラミング	1後		2							兼1
			簿記論Ⅰ	1後		8				1			
			簿記論Ⅱ	2前		8				1			
			財務諸表論Ⅰ	1後		8				1			
			財務諸表論Ⅱ	2前		8				1			
			経営科学Ⅰ	2前		2							兼1
			経営科学Ⅱ	2後		2							兼1
			情報マネジメント基礎Ⅱ	2前		2							兼1
			ミクロ経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			財務会計Ⅱ	2後		2		1	0				
			マクロ経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			観光と経済	2後		2		0					兼1
			公共経済学	2後		2							兼1
			労働経済学	2後		2							兼1
			デジタル経済	2後		2		1					兼1
			計量経済学Ⅰ	2前		2							兼1
			計量経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			ゲーム理論	3前		2							兼1
			経営組織論	3前		2		1					
			組織行動論	3後		2		1					
			人的資源管理	3後		2							兼1
			消費者行動論	3前		2		1					
			ビジネス戦略	3前		2		1		0			
			地域経済論	3前		2		0					兼1
			国際経済	3後		2							兼1
			金融論	3前		2							兼1
			財政学	3前		2							兼1
			産業組織論	3前		2							兼1
			経済政策論	3前		2							兼1
			地域振興論	3前		2							兼1
			都市と文化	3後		2		0					兼1
			政治学	3後		2							兼1
			地域金融を考える	3後		2							兼1
			経営分析	3前		2			1				
			企業価値評価	3後		2			1				
			管理会計	3後		2			0	1			
			商法Ⅰ	3前		2							兼1
			商法Ⅱ	3後		2							兼1
			税法	3前		2		1					
			ビジネス・ケーススタディ	3後		2		2	1				兼1
			職業指導	3後		2			1				兼0
			北陸経済産業論	4前		2							兼1
			マーケティング・リサーチ	4前		2		1					
			流通論Ⅰ	4前		2		1					
			流通論Ⅱ	4後		2		1					
			コーポレートファイナンスⅠ	4前		2			1				
			コーポレートファイナンスⅡ	4後		2			1				
			監査論	4後		2							兼1
			税務会計Ⅱ	4前		2		1	0				
			商業科教育法	3通		4			1				
		小計（79科目）		―		192		4	2	2			兼19
	専門科目計（ 86科目）				14	192		4	2	2			兼19
合計（ 114科目）				―	30	230		4	2	2			兼37

卒業要件及び履修方法

教養科目の必修科目から16単位、教養科目の選択科目から16単位以上、専門科目の必修単位から14単位、専門科目の選択科目から82単位以上を修得し、合計128単位以上修得しなければならない。
なお、年間の履修科目の登録の上限は原則48単位とする。

【令和２年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	修学基礎科目	学修基礎Ⅰ	1前	2			2	2	2			
		学修基礎Ⅱ	2前	2			2	2	2			
		コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前		2		0					兼2
		小計（３科目）	―	4	2		2	2	2			兼2
	人文・社会・自然科学科目	哲学Ⅰ	1前		2							兼1
		哲学Ⅱ	1後		2							兼1
		社会学Ⅰ	1前		2							兼1
		社会学Ⅱ	1後		2							兼1
		法学(日本国憲法)	1後		2							兼1
		心理学の基礎	1前		2							兼1
		経済学概論	1前		2							兼1
		一般数学	1前		2							兼1
		自然科学概論Ⅰ	1前		2							兼1
		自然科学概論Ⅱ	1後		2							兼1
		小計（10科目）	―		20							兼7
	語学科目	英語Ⅰ	1前	2								兼6
		英語Ⅱ	1後	2								兼6
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2			0				兼1
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2			0				兼1
		総合英語Ⅰ	2前		2							兼1
		総合英語Ⅱ	2後		2							兼1
		小計（６科目）	―	4	8			0				兼7
	スポーツ科学科目	スポーツ科学	1前		2							兼1
		小計（１科目）	―		2							兼1
	キャリア科目	FSP講座	1前		2		1	0	1			兼4
		キャリアデザインⅠ	1後	2			2	2	2			兼1
		キャリアデザインⅡ	2前	2			2	2	2			兼1
		キャリアデザインⅢ	2後	2			2	2	2			兼1
		キャリアプランニングⅠ	3前	2			3	0	1			兼1
		キャリアプランニングⅡ	3後		2		3	0	1			兼1
		就業体験（インターンシップ等）	1～4通		1		1					
		ボランティア体験	1～4通		1							兼1
		小計（8科目）	―	8	6		3	2	2			兼4
教養科目　計（28科目）			―	16	38		3	2	2			兼20
専門科目	専門必修科目 基礎科目	経営学基礎Ⅰ	1前	2			1	0				兼0
		会計学基礎Ⅰ	1前	2				2				
		現代経済論Ⅰ	1前	2								兼1
	専門必修科目 展開科目	基礎演習Ⅰ	3前	2			3	2	1			
		基礎演習Ⅱ	3後	2			3	2	1			
		演習Ⅰ	4前	2			4	2	1			
		演習Ⅱ	4後	2			4	2	1			
		小計（７科目）	―	14			4	2	1			兼1
	専門選択科目 基礎科目	プログラミング基礎	1前		2							兼2
		経営学基礎Ⅱ	1後		2		1					
		会計学基礎Ⅱ	1後		2			2				
		情報マネジメント基礎Ⅰ	1後		2							兼1
		現代経済論Ⅱ	1後		2							兼1
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後		2		0					兼2
		統計基礎	1後		2							兼1
		経営管理論Ⅰ	2前		2		1					
		経営管理論Ⅱ	2後		2		1					
		マーケティング論 Ⅰ	2前		2		1					
		マーケティング論 Ⅱ	2後		2		1					
		ミクロ経済学Ⅰ	2前		2							兼1
		マクロ経済学Ⅰ	2前		2							兼1
		日本経済史	2前		2							兼1
		世界経済史	2後		2							兼1
		まちづくり論	2前		2		1					兼0
		財務会計Ⅰ	2前		2			1				
		商業簿記Ⅰ	2前		2			1				
		商業簿記Ⅱ	2後		2			1				
		原価計算Ⅰ	2前		2			1				
		原価計算Ⅱ	2後		2			1				
		税法基礎	2後		2		1					
		税務会計Ⅰ	3後		2		1	0				
		ビジネス英語Ⅰ	3前		2							兼1
		ビジネス英語Ⅱ	3後		2							兼1

【令和３年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	修学基礎科目	学修基礎Ⅰ	1前	2			1	1	2			兼3
		学修基礎Ⅱ	2前	2			1	1	2			兼2
		コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前		2		0					兼2
		小計（３科目）	―	4	2		2	2	3			兼7
	人文・社会・自然科学科目	哲学Ⅰ	1前		2							兼1
		哲学Ⅱ	1後		2							兼1
		社会学Ⅰ	1前		2							兼1
		社会学Ⅱ	1後		2							兼1
		法学(日本国憲法)	1後		2							兼1
		心理学の基礎	1前		2							兼1
		経済学概論	1前		2							兼1
		一般数学	1前		2							兼1
		自然科学概論Ⅰ	1前		2							兼1
		自然科学概論Ⅱ	1後		2							兼1
		小計（10科目）	―		20							兼7
	語学科目	英語Ⅰ	1前	2								兼6
		英語Ⅱ	1後	2								兼6
		英語コミュニケーションⅠ	2前		2			0				兼1
		英語コミュニケーションⅡ	2後		2			0				兼1
		総合英語Ⅰ	2前		2							兼1
		総合英語Ⅱ	2後		2							兼1
		小計（６科目）	―	4	8			0				兼8
	スポーツ科学科目	スポーツ科学	1前		2							兼2
		小計（１科目）	―		2							兼2
	キャリア科目	FSP講座	1前		2		0	0	2			兼3
		キャリアデザインⅠ	1後	2			1	1	2			兼4
		キャリアデザインⅡ	2前	2			1	1	2			兼3
		キャリアデザインⅢ	2後	2			1	1	2			兼3
		キャリアプランニングⅠ	3前	2			2	0	1			兼5
		キャリアプランニングⅡ	3後		2		2	0	1			兼5
		就業体験（インターンシップ等）	1～4通		1		1					
		ボランティア体験	1～4通		1							兼1
		小計（8科目）	―	8	6		3	2	2			兼10
教養科目　計（28科目）			―	16	38		3	2	2			兼26
専門科目	専門必修科目 基礎科目	経営学基礎Ⅰ	1前	2			1	0				兼0
		会計学基礎Ⅰ	1前	2				2	1			
		現代経済論Ⅰ	1前	2								兼1
	専門必修科目 展開科目	基礎演習Ⅰ	3前	2			3	2	2			
		基礎演習Ⅱ	3後	2			3	2	2			
		演習Ⅰ	4前	2			3	2	2			
		演習Ⅱ	4後	2			3	2	2			
		小計（７科目）	―	14			4	2	3			兼1
	専門選択科目 基礎科目	プログラミング基礎	1前		2							兼2
		経営学基礎Ⅱ	1後		2		1					
		会計学基礎Ⅱ	1後		2			2	1			
		情報マネジメント基礎Ⅰ	1後		2							兼1
		現代経済論Ⅱ	1後		2							兼1
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後		2		0					兼2
		統計基礎	1後		2							兼1
		経営管理論Ⅰ	2前		2		1					
		経営管理論Ⅱ	2後		2		1					
		マーケティング論 Ⅰ	2前		2		1					
		マーケティング論 Ⅱ	2後		2		1					
		ミクロ経済学Ⅰ	2前		2							兼1
		マクロ経済学Ⅰ	2前		2							兼1
		日本経済史	2前		2							兼1
		世界経済史	2後		2							兼1
		まちづくり論	2前		2		1					兼0
		財務会計Ⅰ	2前		2		1	0				
		商業簿記Ⅰ	2前		2			1				
		商業簿記Ⅱ	2後		2			1				
		原価計算Ⅰ	2前		2			1				
		原価計算Ⅱ	2後		2			1				
		税法基礎	2後		2		1					
		税務会計Ⅰ	3後		2		1	0				
		ビジネス英語Ⅰ	3前		2							兼1
		ビジネス英語Ⅱ	3後		2							兼1

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	専門選択科目	展開科目	経済数学	1後		2							兼1
			プログラミング	1後		2							**兼2**
			経営科学Ⅰ	2前		2							兼1
			経営科学Ⅱ	2後		2							兼1
			情報マネジメント基礎Ⅱ	2前		2							兼1
			ミクロ経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			財務会計Ⅱ	2後		2			1				
			マクロ経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			観光と経済	2後		2		**1**					**兼0**
			公共経済学	2後		2							兼1
			労働経済学	2後		2							兼1
			計量経済学Ⅰ	2前		2							兼1
			計量経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			ゲーム理論	3前		2							兼1
			経営組織論	3前		2		1					
			組織行動論	3後		2		1					
			人的資源管理	3後		2							兼1
			消費者行動論	3前		2		1					
			ビジネス戦略	3前		2		1					
			地域経済論	3前		2		**1**					**兼0**
			国際経済	3後		2							兼1
			金融論	3前		2							兼1
			財政学	3前		2							兼1
			産業組織論	3前		2							兼1
			経済政策論	3前		2							兼1
			地域振興論	3前		2							兼1
			都市と文化	3後		2		**1**					**兼0**
			政治学	3後		2							兼1
			地域金融を考える	3後		2							兼1
			経営分析	3前		2			1				
			企業価値評価	3後		2			1				
			管理会計	3後		2			1				
			商法Ⅰ	3前		2							兼1
			商法Ⅱ	3後		2							兼1
			税法	3前		2		1					
			ビジネス・ケーススタディ	3後		2		**1**	2				
			北陸経済産業論	4前		2							兼1
			マーケティング・リサーチ	4前		2		1					
			流通論Ⅰ	4前		2		1					
			流通論Ⅱ	4後		2		1					
			コーポレートファイナンスⅠ	4前		2			1				
			コーポレートファイナンスⅡ	4後		2			1				
			監査論	4後		2							兼1
			税務会計Ⅱ	4前		2		**1**	**0**				
		小計（69科目）		―		138		4	**2**				**兼16**
	専門科目計（ 76科目）				14	138		4	**2**	**1**			**兼16**
合計（ 104科目）				―	30	176		**4**	**2**	**2**			**兼28**

卒業要件及び履修方法

教養科目の必修科目から16単位、教養科目の選択科目から16単位以上、専門科目の必修単位から14単位、専門科目の選択科目から82単位以上を修得し、合計128単位以上修得しなければならない。
なお、年間の履修科目の登録の上限は原則48単位とする。

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	専門選択科目	展開科目	経済数学	1後		2							兼1
			プログラミング	1後		2							**兼2**
			経営科学Ⅰ	2前		2							兼1
			経営科学Ⅱ	2後		2							兼1
			情報マネジメント基礎Ⅱ	2前		2							兼1
			ミクロ経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			財務会計Ⅱ	2後		2		**1**	**0**				
			マクロ経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			観光と経済	2後		2		**1**					**兼0**
			公共経済学	2後		2							兼1
			労働経済学	2後		2							兼1
			計量経済学Ⅰ	2前		2							兼1
			計量経済学Ⅱ	2後		2							兼1
			ゲーム理論	3前		2							兼1
			経営組織論	3前		2		1					
			組織行動論	3後		2		1					
			人的資源管理	3後		2							兼1
			消費者行動論	3前		2		1					
			ビジネス戦略	3前		2		**0**		**1**			
			地域経済論	3前		2		**1**					**兼0**
			国際経済	3後		2							兼1
			金融論	3前		2							兼1
			財政学	3前		2							兼1
			産業組織論	3前		2							兼1
			経済政策論	3前		2							兼1
			地域振興論	3前		2							兼1
			都市と文化	3後		2		**1**					**兼0**
			政治学	3後		2							兼1
			地域金融を考える	3後		2							兼1
			経営分析	3前		2			1				
			企業価値評価	3後		2			1				
			管理会計	3後		2			1				
			商法Ⅰ	3前		2							兼1
			商法Ⅱ	3後		2							兼1
			税法	3前		2		1					
			ビジネス・ケーススタディ	3後		2		**1**	2				
			職業指導	**3後**		**2**							**兼1**
			北陸経済産業論	4前		2							兼1
			マーケティング・リサーチ	4前		2		1					
			流通論Ⅰ	4前		2		1					
			流通論Ⅱ	4後		2		1					
			コーポレートファイナンスⅠ	4前		2			1				
			コーポレートファイナンスⅡ	4後		2			1				
			監査論	4後		2							兼1
			税務会計Ⅱ	4前		2		**1**	**0**				
			商業科教育法	**3通**		**4**			**1**				
		小計（71科目）		―		144		**5**	**2**	**2**			**兼17**
	専門科目計（ 78科目）				14	144		**5**	**2**	**3**			**兼17**
合計（ 106科目）				―	30	182		**5**	**2**	**4**			**兼32**

卒業要件及び履修方法

教養科目の必修科目から16単位、教養科目の選択科目から16単位以上、専門科目の必修単位から14単位、専門科目の選択科目から82単位以上を修得し、合計128単位以上修得しなければならない。
なお、年間の履修科目の登録の上限は原則48単位とする。

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和２年度】

・担当科目の調整のため、「学修基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」、「准教授4」から「准教授2」、「講師0」から「講師2」に変更。
・担当科目の調整のため、「学修基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」、「准教授4」から「准教授2」、「講師0」から「講師2」に変更。
・岡田政則教授の学内異動に伴い、「コンピュータ基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「教授1」から「教授0」、兼担を「0」から「2」に変更。
・担当科目の調整のため、「心理学の基礎」を兼担「2」から「1」に変更。
・教育効果を考え、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」の兼担を「3」から「6」に変更。
・坂東貴夫准教授の学内異動に伴い、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼担を「0」から「1」に変更。
・教育効果を考え、「FSP講座」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」、兼担を「0」から「4」に変更。
・教育効果を考え、「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「講師0」から「講師2」に変更。
・教育効果を考え、「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更。
・担当科目の調整のため、「経営学基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼担を「1」から「0」に変更。
・岩井恒太郎准教授の就任辞退に伴い、「会計学基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
・担当科目の調整のため、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」、「講師0」から「講師1」に変更。
・担当科目の調整のため、「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授3」から「准教授2」、「講師0」から「講師1」に変更。
・教育効果を考え、「プログラミング基礎」の兼担を「1」から「2」に変更。
・岡田政則教授の学内異動に伴い、「コンピュータ基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼担を「0」から「2」に変更。
・佐藤淳教授の就任に伴い、「まちづくり論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼担を「1」から「0」に変更。
・岩井恒太郎准教授の就任辞退に伴い、「税務会計Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教育効果を考え、「プログラミング」の兼担を「1」から「2」に変更。
・佐藤淳教授の就任に伴い、「観光と経済」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼担を「1」から「0」に変更。
・佐藤淳教授の就任に伴い、「地域経済論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼担を「1」から「0」に変更。
・佐藤淳教授の就任に伴い、「都市と文化」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼担を「1」から「0」に変更。
・担当科目の調整のため、「ビジネス・ケーススタディ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・岩井恒太郎准教授の就任辞退に伴い、「税務会計Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

【令和３年度】

・担当科目の調整のため、「学修基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」、兼担を「0」から「3」に変更。
・担当科目の調整のため、「学修基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」、兼担を「0」から「2」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ科学」の兼担を「1」から「2」に変更。
・担当科目の調整のため、「FSP講座」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師1」から「講師2」、兼担を「4」から「3」に変更。
・担当科目の調整のため、「キャリアデザインⅠ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」、兼担を「1」から「4」に変更。
・担当科目の調整のため、「キャリアデザインⅡ」」「キャリアデザインⅢ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」、兼担を「1」から「3」に変更。
・担当科目の調整のため、「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、兼担を「1」から「5」に変更。
・教育効果を考え、「会計学基礎Ⅰ」「会計学基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・教育効果を考え、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・担当科目の調整のため、「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」、「講師1」から「講師2」に変更。
・藤井秀樹教授の就任に伴い、「財務会計Ⅰ」「財務会計Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・筈井俊輔講師の就任に伴い、「ビジネス戦略」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更。
・令和3年度より高校教員免許（商業科）の取得が可能になったため、授業科目に「職業指導」及び「商業科教育法」を追加。

【令和４年度】

・担当科目の調整のため、「学修基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
・担当科目の調整のため、「学修基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師0」に、兼担を「2」から「3」に変更。
・教育効果を考え、「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」の兼担を「2」から「4」に変更。
・教育効果を考え、「スポーツ科学」の兼担を「2」から「3」に変更。
・担当科目の調整のため、「FSP講座」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」、兼担を「3」から「4」に変更。
・担当科目の調整のため、「キャリアデザインⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
・担当科目の調整のため、「キャリアデザインⅡ」」「キャリアデザインⅢ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師0」、兼担を「3」から「4」に変更。
・担当科目の調整のため、「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、兼担を「5」から「2」に変更。
・佐藤淳教授の学内異動に伴い、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
・担当科目の調整のため、「プログラミング基礎」「プログラミング」の専任教員等の配置を「兼担2」から「兼担1」に変更。
・佐藤淳教授の学内異動に伴い、「まちづくり論」「観光と経済」「地域経済」「都市と文化」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼担を「0」から「1」に変更。
・筈井俊輔講師の退職に伴い、「ビジネス戦略」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
・担当科目の調整のため、「管理会計」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「講師0」から「講師1」に変更。
・担当科目の調整のため、「ビジネス・ケーススタディ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に、兼担を「0」から「1」に変更。
・担当科目の調整のため，「職業指導」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、兼担を「1」から「0」に変更。
・令和4年度より学生の専門性を高めるため授業科目に「持続可能な発展論」「デジタル経済」「実践簿記Ⅰ」「実践簿記Ⅱ」「簿記論Ⅰ」「簿記論Ⅱ」「財務諸表論Ⅰ」「財務諸表論Ⅱ」を追加。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
15 科目	89 科目	0 科目	104 科目	15 科目 [ ]	99 科目 [10]	0 科目 [ ]	114 科目 [10]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{104} = \boxed{0}\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	◆共用する他の学校 金沢学院短期大学 （必要面積：3,200㎡） ◆運動場用地（専用）借用面積:1,386㎡、期間:25年 ◆その他（共用）借用面積：919㎡，借用期間10年　1,978㎡，借用期間21年（寮敷地）
	校舎敷地	0㎡	82,501㎡	0㎡	82,501㎡	
	運動場用地	35,590㎡	10,612㎡	0㎡	46,202㎡	
	小計	35,590㎡	93,113㎡	0㎡	128,703㎡	
	その他	31,610㎡	12,665㎡	0㎡	44,275㎡	
	合計	67,200㎡	105,778㎡	0㎡	172,978㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	金沢学院短期大学と併用 （必要面積：3,650㎡）
		16,228㎡ （16,228 ㎡）	16,984㎡ （16,984 ㎡）	5,107㎡ （5,107 ㎡）	38,379㎡ （38,379 ㎡）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	50室	13室	43室	13室 （補助職員　3人）	3室 （補助職員　2人）	大学・短大全体

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	経済学部　経営学科	8室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	経済学部 経営学科	51,968〔11,450〕 (48,928〔11,490〕)	550〔267〕 (550〔267〕)	233〔233〕 (233〔233〕)	1,063 (988)	2,152 (2,152)	0 (0)	図書は大学及び短期大学全体での共用分を含む 機械･器具、標本は大学及び短期大学全体での共用分を含む
	計	51,968〔11,450〕 (48,928〔11,490〕)	550〔267〕 (550〔267〕)	233〔233〕 (233〔233〕)	1,063 (988)	2,152 (2,152)	0 (0)	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	2,755㎡	325 席	229,914冊	

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		
	3,391㎡	屋内練習場	テニスコート	大学・短大全体

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員１人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	1,500千円	1,500千円	1,500千円	大学全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。
		共同研究費等	900千円	900千円	設備購入費	6,000千円	6,000千円	6,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,200千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円	—千円	—千円

学生納付金以外の維持方法の概要	自己資金、資産運用収入　等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（４）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	金沢学院大学						学生募集停止学科数	6	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	3	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部											
文学科	4	180	3年次 8	736	学士 （文学）	1.14	1.08	令和3	平成27	石川県金沢市末町10の5番地	定員変更（30）
日本文学専攻	4	60	（便宜上） 4	248	学士 （文学）	1.13	1.23	令和3	平成27	同上	定員変更（10）
英米文学専攻	4	30		120	学士 （文学）	0.62	0.36	－	平成27	同上	
歴史学専攻	4	50	（便宜上） 4	208	学士 （文学）	1.37	1.12	令和3	平成27	同上	定員変更（10）
心理学専攻	4	40		160	学士 （文学）	1.32	1.37	令和3	平成27	同上	定員変更（10）
教育学科	4	－	－	－	学士 （教育学）	－	－	－	平成30	同上	令和4年より学生募集停止
教育学部											
教育学科	4	70	3年次 5	290	学士 （教育学）	1.02	1.02	－	令和４	同上	
経営情報学部											
経営ビジネス学科	4	－	－	－	学士 （経営学）	－	－	－	平成18	同上	平成28年より学生募集停止
経営システム学科	4	－	－	－	学士 （経営学）	－	－	－	平成18	同上	平成28年より学生募集停止
経営情報学科	4	－	－	－	学士 （経営学）	－	－	－	平成28	同上	令和2年より学生募集停止
経済学部											
経済学科	4	80	3年次 5	330	学士 （経済学）	1.00	1.00	令和4	令和2	同上	定員変更（30）
経営学科	4	60	3年次 5	250	学士 （経営学）	1.31	1.37	令和4	令和2	同上	定員変更（10）
経済情報学部											
経済情報学科	4	70	－	280	学士 （経済情報学）	1.09	1.05	－	令和2	同上	
芸術学部											
芸術学科	4	70	3年次 2	284	学士 （芸術学）	1.14	1.04	－	平成28	同上	
人間健康学部											
スポーツ健康学科	4	－	－	－	学士 （スポーツ健康学）	－	－	－	平成23	同上	令和3年より学生募集停止
健康栄養学科	4	－	－	－	学士 （栄養学）	－	－	－	平成28	同上	令和3年より学生募集停止
スポーツ科学部											
スポーツ科学科	4	150	3年次 10	620	学士 （スポーツ科学）	1.14	1.15	－	令和3	同上	
栄養学部											
栄養学科	4	80	3年次 5	330	学士 （栄養学）	1.06	1.10	－	令和3	同上	
大学全体	－	800	40	3280	－	－	－	－	－	－	

大学の名称	金沢学院大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
大学院経営情報学研究科											
経営情報学専攻（博士前期課程）	2	10	－	20	修士（経営情報学）	0.35	0.40	－	平成11	石川県金沢市末町10の5番地及びサテライト教室（石川県金沢市南町3番1号　南町中央ビル）	
経営情報学専攻（博士後期課程）	3	4	－	12	博士（経営情報学）	0.08	0.00	－	平成17		
大学院人文学研究科											
人文学専攻（修士課程）	2	5	－	10	修士（文学）	0.40	0.60	－	平成20	石川県金沢市末町10の5番地	
大学院スポーツ健康学研究科											
スポーツ健康学専攻（修士課程）	2	5	－	10	修士（スポーツ健康学）	0.40	0.20	－	平成27	同上	
大学院全体	－	24	－	52	－	－	－	－	－	－	

大学の名称	金沢学院短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
幼児教育学科	2	50	－	100	短期大学士（幼児教育学）	0.86	0.76	－	平成30	石川県金沢市末町10の5番地	
現代教養学科	2	50	－	100	短期大学士（教養）	1.13	1.22	－	平成28	同上	
食物栄養学科	2	60	－	120	短期大学士（栄養学）	0.92	1.08	－	平成17	同上	
短期大学全体	－	160	－	320	－	－	－	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

＜経済学部　経営学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	大野　尚弘 （49） ＜令和２年４月＞ 修士（商学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ マーケティング論Ⅰ マーケティング論Ⅱ 消費者行動論 ビジネス・ケーススタディ マーケティング・リサーチ 流通論Ⅰ 流通論Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	教授	岡田　政則 （62） ＜令和２年４月＞ 博士（情報科学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ FSP講座 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ
		田中　晴人 （66） ＜令和２年４月＞ 経済学修士	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ FSP講座 経営学基礎Ⅰ 経営学基礎Ⅱ 経営管理論Ⅰ 経営管理論Ⅱ 経営組織論 組織行動論 ビジネス戦略 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	大野　尚弘 （49） ＜令和２年４月＞ 修士（商学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ マーケティング論Ⅰ マーケティング論Ⅱ 消費者行動論 ビジネス・ケーススタディ マーケティング・リサーチ 流通論Ⅰ 流通論Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	教授	佐藤　淳 （57） ＜令和２年４月＞ 修士（国際情報）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 観光と経済 地域経済論 まちづくり論 都市と文化 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
		田中　晴人 （66） ＜令和２年４月＞ 経済学修士	キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 就業体験（インターンシップ等） FSP講座 経営学基礎Ⅰ 経営学基礎Ⅱ 経営管理論Ⅰ 経営管理論Ⅱ 経営組織論 組織行動論 ビジネス戦略 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	大野　尚弘 （50） ＜令和２年４月＞ 修士（商学）	学修基礎Ⅰ キャリアデザインⅠ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ マーケティング論Ⅰ マーケティング論Ⅱ 消費者行動論 ビジネス・ケーススタディ マーケティング・リサーチ 流通論Ⅰ 流通論Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	教授	佐藤　淳 （58） ＜令和２年４月＞ 修士（国際情報）	学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 観光と経済 地域経済論 まちづくり論 都市と文化 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
		田中　晴人 （67） ＜令和２年４月＞ 経済学修士	就業体験（インターンシップ等） 経営学基礎Ⅰ 経営学基礎Ⅱ 経営管理論Ⅰ 経営管理論Ⅱ 経営組織論 組織行動論

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	大野　尚弘 （51） ＜令和２年４月＞ 修士（商学）	学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 就業体験（インターンシップ等） マーケティング論Ⅰ マーケティング論Ⅱ デジタル経済 消費者行動論 ビジネス・ケーススタディ マーケティング・リサーチ 流通論Ⅰ 流通論Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
		田中　晴人 （68） ＜令和２年４月＞ 経済学修士	経営学基礎Ⅰ 経営学基礎Ⅱ 経営管理論Ⅰ 経営管理論Ⅱ 経営組織論 組織行動論 ビジネス戦略 ビジネス・ケーススタディ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	土屋　雅一 （63） ＜令和２年４月＞ 工学士	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 就業体験（インターンシップ等） 税法基礎 税法 ビジネス・ケーススタディ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	准教授	岩井　恒太郎 （62） ＜令和２年４月＞ 修士（経済学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ FSP講座 キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 会計学基礎Ⅰ 会計学基礎Ⅱ 商業簿記Ⅰ 商業簿記Ⅱ 税務会計Ⅰ 税務会計Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	准教授	坂東　貴夫 （46） ＜令和２年４月＞ 博士（学術）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
専	准教授	米澤　順一 （55） ＜令和２年４月＞ 修士（経営情報学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 会計学基礎Ⅰ 会計学基礎Ⅱ 原価計算Ⅰ 原価計算Ⅱ 管理会計 ビジネス・ケーススタディ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	土屋　雅一 （63） ＜令和２年４月＞ 工学士	税法基礎 税法 税務会計Ⅰ 税務会計Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	准教授	米澤　順一 （55） ＜令和２年４月＞ 修士（経営情報学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 会計学基礎Ⅰ 会計学基礎Ⅱ 商業簿記Ⅰ 商業簿記Ⅱ 原価計算Ⅰ 原価計算Ⅱ 管理会計 ビジネス・ケーススタディ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	土屋　雅一 （64） ＜令和２年４月＞ 工学士	税法基礎 税法 税務会計Ⅰ 税務会計Ⅱ
専	教授	藤井　秀樹 （65） ＜令和３年４月＞ 経済学博士	財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	准教授	米澤　順一 （56） ＜令和２年４月＞ 修士（経営情報学）	学修基礎Ⅰ キャリアデザインⅠ 会計学基礎Ⅰ 会計学基礎Ⅱ 商業簿記Ⅰ 商業簿記Ⅱ 原価計算Ⅰ 原価計算Ⅱ 管理会計 ビジネス・ケーススタディ 商業科教育法 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	土屋　雅一 （65） ＜令和２年４月＞ 工学士	税法基礎 税法 税務会計Ⅰ 税務会計Ⅱ
専	教授	藤井　秀樹 （66） ＜令和３年４月＞ 経済学博士	財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	准教授	米澤　順一 （57） ＜令和２年４月＞ 修士（経営情報学）	学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 会計学基礎Ⅰ 会計学基礎Ⅱ 商業簿記Ⅰ 商業簿記Ⅱ 原価計算Ⅰ 原価計算Ⅱ 職業指導 商業科教育法 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	渡邊　誠士 （39） ＜令和２年４月＞ 修士（経済学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ 経営学基礎Ⅰ 会計学基礎Ⅰ 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ 経営分析 企業価値評価 ビジネス・ケーススタディ コーポレートファイナンスⅠ コーポレートファイナンスⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
兼担	教授	阿手　雅博 （68） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	情報マネジメント基礎Ⅰ 情報マネジメント基礎Ⅱ
兼担	教授	井手　秀樹 （71） ＜令和３年４月＞ 経営学修士	ミクロ経済学Ⅱ 産業組織論 経済政策論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	渡邊　誠士 （39） ＜令和２年４月＞ 修士（経済学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 会計学基礎Ⅰ 会計学基礎Ⅱ 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ 経営分析 企業価値評価 ビジネス・ケーススタディ コーポレートファイナンスⅠ コーポレートファイナンスⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	講師	上野　学 （35） ＜令和２年４月＞ 博士（経営学）	学修基礎Ⅰ 学修基礎Ⅱ FSP講座 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	講師	林　文慧 （62） ＜令和２年４月＞ 修士（経済学）	学習基礎Ⅰ 学習基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ
専	教授	井手　秀樹 （71） ＜令和３年４月＞ 経営学修士	産業組織論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	渡邊　誠士 （40） ＜令和２年４月＞ 修士（経済学）	学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 会計学基礎Ⅰ 会計学基礎Ⅱ 経営分析 企業価値評価 ビジネス・ケーススタディ コーポレートファイナンスⅠ コーポレートファイナンスⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	講師	上野　学 （36） ＜令和２年４月＞ 博士（経営学）	学修基礎Ⅱ FSP講座 キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	講師	児島　記代 （44） ＜令和３年４月＞ 博士（政策）	会計学基礎Ⅰ 会計学基礎Ⅱ
専	講師	笘井　俊輔 （35） ＜令和３年４月＞ 博士（経済学）	学修基礎Ⅰ FSP講座 キャリアデザインⅠ ビジネス戦略 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	講師	林　文慧 （63） ＜令和２年４月＞ 修士（経済学）	学習基礎Ⅰ 学習基礎Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ
専	教授	井手　秀樹 （72） ＜令和３年４月＞ 経営学修士	ミクロ経済学Ⅱ 産業組織論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	渡邊　誠士 （41） ＜令和２年４月＞ 修士（経済学）	学修基礎Ⅰ キャリアデザインⅠ 会計学基礎Ⅰ 会計学基礎Ⅱ 経営分析 企業価値評価 ビジネス・ケーススタディ コーポレートファイナンスⅠ コーポレートファイナンスⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	講師	上野　学 （37） ＜令和２年４月＞ 博士（経営学）	学修基礎Ⅰ FSP講座 キャリアデザインⅠ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 管理会計 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	講師	児島　記代 （45） ＜令和３年４月＞ 博士（政策）	学修基礎Ⅰ キャリアデザインⅠ 会計学基礎Ⅰ 会計学基礎Ⅱ 実践簿記Ⅰ 実践簿記Ⅱ 簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 財務諸表論Ⅰ 財務諸表論Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ
兼担	教授	井手　秀樹 （73） ＜令和３年４月＞ 経営学修士	ミクロ経済学Ⅱ デジタル経済 産業組織論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	奥井（久利）めぐみ （51） ＜令和３年４月＞ 博士（国際公共政策）	ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 公共経済学 労働経済学 金融論 地域金融を考える
兼担	教授	笠間　弘美 （62） ＜令和４年４月＞ MATESL（米国）	ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ
兼担	教授	桑野　裕昭 （52） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	一般数学 経済数学 経営科学Ⅰ 経営科学Ⅱ ゲーム理論
兼担	教授	佐々木　圭一 （49） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ
兼担	教授	高橋　啓 （64） ＜令和２年４月＞ 博士（公共政策学）	ボランティア体験 経営学基礎Ⅰ 経営学基礎Ⅱ 日本経済史 地域振興論 北陸経済産業論
兼担	教授	竹村　裕樹 （66） ＜令和３年４月＞ 工学士	まちづくり論 観光と経済 都市と文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	奥井（久利）めぐみ （51） ＜令和３年４月＞ 博士（国際公共政策）	ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ 労働経済学 地域金融を考える
兼担	教授	笠間　弘美 （60） ＜令和２年４月＞ MATESL（米国）	ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼担	教授	桑野　裕昭 （52） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	経営科学Ⅰ 経営科学Ⅱ ゲーム理論
兼担	教授	佐々木　圭一 （49） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ
兼担	教授	高　賢一 （66） ＜令和２年４月＞ 修士（教育学）	心理学の基礎
兼担	教授	高橋　啓 （64） ＜令和２年４月＞ 博士（公共政策学）	FSP講座 ボランティア体験 日本経済史 地域振興論 北陸経済産業論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	奥井（久利）めぐみ （52） ＜令和３年４月＞ 博士（国際公共政策）	学修基礎Ⅰ キャリアデザインⅠ 労働経済学 地域金融を考える
兼担	教授	小田　圭一郎 （56） ＜令和３年４月＞ 修士（経済学）	学修基礎Ⅰ 経済学概論 FSP講座 キャリアデザインⅠ 現代経済論Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ
兼担	教授	笠間　弘美 （61） ＜令和２年４月＞ MATESL（米国）	ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼担	教授	桑野　裕昭 （53） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	経営科学Ⅰ 経営科学Ⅱ ゲーム理論
兼担	教授	佐々木　圭一 （50） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ
兼担	教授	高　賢一 （67） ＜令和２年４月＞ 修士（教育学）	心理学の基礎
兼担	教授	高橋　啓 （65） ＜令和２年４月＞ 博士（公共政策学）	FSP講座 ボランティア体験 日本経済史 地域振興論 北陸経済産業論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	奥井（久利）めぐみ （53） ＜令和３年４月＞ 博士（国際公共政策）	学修基礎Ⅱ 経済学概論 キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 労働経済学 地域金融を考える
兼担	教授	小田　圭一郎 （57） ＜令和３年４月＞ 修士（経済学）	学修基礎Ⅱ FSP講座 キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 現代経済論Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ ゲーム理論
兼担	教授	笠間　弘美 （62） ＜令和２年４月＞ MATESL（米国）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼担	教授	桑野　裕昭 （54） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	経営科学Ⅰ 経営科学Ⅱ
兼担	教授	ゴータム・ビスヌ・プラサド （49） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ
兼担	教授	佐々木　圭一 （51） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ
兼担	教授	佐藤　淳 （59） ＜令和２年４月＞ 修士（国際情報）	観光と経済 地域経済論 まちづくり論 都市と文化
兼担	教授	高　賢一 （68） ＜令和２年４月＞ 修士（教育学）	心理学の基礎

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	根本　博 （71） ＜令和２年４月＞ 経済学士	現代経済論Ⅰ 現代経済論Ⅱ 財政学
兼担	教授	松井　良雄 （61） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	統計基礎
兼担	准教授	塚崎　玲子 （59） ＜令和３年４月＞ 文学修士	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼担	准教授	中崎　崇志 （49） ＜令和２年４月＞ 博士（文学）	心理学の基礎
兼担	准教授	中村　直行 （55） ＜令和２年４月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ
兼担	准教授	藤本　祥二 （48） ＜令和４年４月＞ 博士（理学）	プログラミング基礎 プログラミング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	豊田　欣吾 （59） ＜令和２年４月＞ 経済学士	現代経済論Ⅱ マクロ経済学Ⅰ 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 経済政策論 財政学
兼担	准教授	小里　千寿 （57） ＜令和２年４月＞ 経営学修士	FSP講座 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 人的資源管理
兼担	准教授	古谷　京一 （53） ＜令和２年４月＞ 修士（経済学）	現代経済論Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 公共経済学 金融論
兼担	准教授	塚崎　玲子 （59） ＜令和３年４月＞ 文学修士	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼担	准教授	中村　直行 （55） ＜令和２年４月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	豊田　欣吾 （60） ＜令和２年４月＞ 経済学士	学修基礎Ⅱ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ マクロ経済学Ⅰ 経済政策論 財政学
兼担	准教授	小里　千寿 （58） ＜令和２年４月＞ 経営学修士	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 人的資源管理 職業指導
兼担	教授	古谷　京一 （54） ＜令和２年４月＞ 修士（経済学）	キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 現代経済論Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 公共経済学 金融論
兼担	准教授	塚崎　玲子 （60） ＜令和３年４月＞ 文学修士	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼担	准教授	中村　直行 （56） ＜令和２年４月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ
兼担	准教授	藤本　祥二 （49） ＜令和４年４月＞ 博士（理学）	キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	豊田　欣吾 （61） ＜令和２年４月＞ 経済学士	学修基礎Ⅰ キャリアデザインⅠ ボランティア体験 マクロ経済学Ⅰ 経済政策論 財政学
兼担	教授	松井　良雄 （63） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ
兼担	教授	古谷　京一 （55） ＜令和２年４月＞ 修士（経済学）	学修基礎Ⅰ キャリアデザインⅠ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 現代経済論Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 公共経済学 金融論
兼担	准教授	小西　尚之 （49） ＜令和４年４月＞ 修士（教育学）	社会学Ⅱ
兼担	准教授	武石　健哉 （51） ＜令和４年４月＞ 体育学修士	スポーツ科学
兼担	准教授	中村　直行 （57） ＜令和２年４月＞ 博士（文学）	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ
兼担	准教授	藤居　真路 （59） ＜令和４年４月＞ 博士（教育学）	英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	前川　浩子 （42） ＜令和２年４月＞ 博士（教育学）	心理学の基礎
兼担	講師	小里　千寿 （57） ＜令和２年４月＞ 経営学修士	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 人的資源管理
兼担	講師	多田　邦宏 （60） ＜令和２年４月＞ 学士（体育）	スポーツ科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	ゴータム・ビスヌ・プラサド （47） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	プログラミング基礎 プログラミング コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ
兼担	講師	小形　優人 （28） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	一般数学 経済数学
兼担	講師	加藤　里紗 （35） ＜令和２年４月＞ 博士（経済学）	経済学概論 FSP講座 世界経済史 国際経済
兼担	講師	後藤　弘光 （29） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	FSP講座 統計基礎
兼担	講師	野田　祐輔 （32） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	プログラミング基礎 プログラミング コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ 情報マネジメント基礎Ⅰ 情報マネジメント基礎Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	ゴータム・ビスヌ・プラサド （48） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	プログラミング基礎 プログラミング コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ
兼担	准教授	松田　聡浩 （53） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	コンピュータ基礎演習Ⅰ プログラミング基礎 情報マネジメント基礎Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ プログラミング 情報マネジメント基礎Ⅱ
兼担	講師	小形　優人 （29） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	一般数学 経済数学
兼担	講師	加藤　里紗 （36） ＜令和２年４月＞ 博士（経済学）	学修基礎Ⅱ FSP講座 キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 世界経済史 国際経済
兼担	講師	後藤　弘光 （30） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	統計基礎

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	松田　聡浩 （54） ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	コンピュータ基礎演習Ⅰ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 情報マネジメント基礎Ⅰ 情報マネジメント基礎Ⅱ
兼担	講師	小形　優人 （30） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ 一般数学 経済数学
兼担	講師	加藤　里紗 （37） ＜令和２年４月＞ 博士（経済学）	学修基礎Ⅰ FSP講座 キャリアデザインⅠ キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 持続可能な発展論 世界経済史 国際経済 ビジネス・ケーススタディ
兼担	講師	後藤　弘光 （31） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	FSP講座 統計基礎
兼担	講師	嶋村　貢志 （42） ＜令和４年４月＞ Ph.D. in Linguistics	英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	深堀　遼太郎 （34） ＜令和２年４月＞ 博士（商学）	経済学概論 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 国際経済

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	武村　敏幸 （66） ＜令和２年４月＞ 法学修士	法学（日本国憲法）
兼任	講師	谷本　亙 （64） ＜令和４年４月＞ 文学修士	地域経済論
兼任	講師	徳前　元信 （61） ＜令和５年４月＞ 商学修士	監査論
兼任	講師	中原　眞澄 （58） ＜令和２年４月＞ 修士（教育学）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	村上　裕 （46） ＜令和４年４月＞ 修士（地域政策）	商法Ⅰ 商法Ⅱ
兼任	講師	山本　憲雄 （73） ＜令和２年４月＞ MBA（観光学）（米国）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	吉本　惠律子 （73） ＜令和２年４月＞ 文学士	英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	武村　敏幸 （66） ＜令和２年４月＞ 法学修士	法学（日本国憲法）
兼任	講師	徳前　元信 （61） ＜令和５年４月＞ 商学修士	監査論
兼任	講師	中原　眞澄 （58） ＜令和２年４月＞ 修士（教育学）	英語Ⅰ 英語Ⅱ **総合英語Ⅰ** **総合英語Ⅱ**
兼任	講師	村上　裕 （46） ＜令和４年４月＞ 修士（地域政策）	商法Ⅰ 商法Ⅱ
兼任	講師	山本　憲雄 （73） ＜令和２年４月＞ MBA（観光学）（米国）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	吉本　惠律子 （73） ＜令和２年４月＞ 文学士	英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	武村　敏幸 （67） ＜令和２年４月＞ 法学修士	法学（日本国憲法）
兼任	講師	徳前　元信 （61） ＜令和５年４月＞ 商学修士	監査論
兼任	**講師**	**宮永　隆一朗** **（38）** **＜令和３年４月＞** **博士（史学）**	**英語Ⅰ** **英語Ⅱ**
兼任	講師	村上　裕 （46） ＜令和４年４月＞ 修士（地域政策）	商法Ⅰ 商法Ⅱ
兼任	**講師**	**安田　寛子** **（65）** **＜令和３年４月＞** **Master of Arts(米国)**	**英語Ⅰ** **英語Ⅱ**
兼任	講師	吉本　惠律子 （74） ＜令和２年４月＞ 文学士	英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	武村　敏幸 （68） ＜令和２年４月＞ 法学修士	法学（日本国憲法）
兼任	講師	徳前　元信 （61） ＜令和５年４月＞ 商学修士	監査論
兼任	**講師**	**ポール・デイビス** **（33）** **＜令和４年４月＞** **Meng（英国）**	**ビジネス英語Ⅰ** **ビジネス英語Ⅱ**
兼任	講師	村上　裕 （46） ＜令和４年４月＞ 修士（地域政策）	商法Ⅰ 商法Ⅱ
兼任	**講師**	**安田　寛子** **（66）** **＜令和３年４月＞** **Master of Arts(米国)**	**英語Ⅰ** **英語Ⅱ**
兼任	講師	吉本　惠律子 （75） ＜令和２年４月＞ 文学士	英語Ⅰ 英語Ⅱ

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

【令和２年度】

・教育効果を考え、大野尚弘教授の担当科目に「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を追加。
・岡田政則教授の学内異動に伴い、担当科目「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「FSP講座」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」を外し、「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」はゴータム・ビスヌ・プラサド兼担准教授と野田祐輔兼担講師が担当。
・佐藤淳教授が令和２年４月に就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」「観光と経済」「地域経済論」「まちづくり論」「都市と文化」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」。
・担当科目の調整のため、田中晴人教授の担当科目「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」を外し、「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」「就業体験（インターンシップ等）」を追加。
・担当科目の調整のため、土屋雅一教授の担当科目「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」「就業体験（インターンシップ等）」「ビジネス・ケーススタディ」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」を外し、「税務会計Ⅰ」「税務会計Ⅱ」を追加。
・岩井恒太郎准教授の就任辞退に伴い、「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「FSP講座」「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」「会計学基礎Ⅰ」「会計学基礎Ⅱ」「商業簿記Ⅰ」「商業簿記Ⅱ」「税務会計Ⅰ」「税務会計Ⅱ」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」を外し、「会計学基礎Ⅰ」「会計学基礎Ⅱ」は米澤順一准教授と渡邊誠士准教授が、「商業簿記Ⅰ」「商業簿記Ⅱ」は米澤順一准教授が、「税務会計Ⅰ」「税務会計Ⅱ」は土屋雅一教授が担当。
・坂東貴夫准教授の学内異動に伴い、担当科目「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」を外し、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」は平方裕久兼担講師が担当。
・岩井恒太郎准教授の就任辞退に伴い、米澤順一准教授の担当科目に「商業簿記Ⅰ」「商業簿記Ⅱ」を追加。
・担当科目の調整のため、渡邊誠士准教授の担当科目「経営学基礎Ⅰ」を外し、「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」「会計学基礎Ⅰ」を追加。
・上野学講師が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「FSP講座」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」。
・林文慧講師が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」。
・阿手雅博兼担教授の就任辞退に伴い、担当科目「情報マネジメント基礎Ⅰ」「情報マネジメント基礎Ⅱ」を野田祐輔兼担講師の担当に変更。
・担当科目の調整のため、井手秀樹兼担教授の担当科目「ミクロ経済学Ⅱ」「経済政策論」を外す。
・担当科目の調整のため、奥井めぐみ兼担教授の担当科目「マクロ経済学Ⅰ」「マクロ経済学Ⅱ」「公共経済学」「金融論」を外し、「ミクロ経済学Ⅱ」を追加。
・教育効果を考え、笠間弘美兼担教授の担当科目に「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を追加。
・担当科目の調整のため、桑野裕昭兼担教授の担当科目「一般数学」「経済数学」を外す。
・担当科目の調整のため、中崎崇志兼担准教授、前川浩子兼担准教授の担当科目「心理学の基礎」を高賢一兼担教授が担当。
・担当科目の調整のため、高橋啓兼担教授の担当科目「経営学基礎Ⅰ」「経営学基礎Ⅱ」を外す。
・担当科目の調整のため、竹村裕樹兼担教授の担当科目「まちづくり論」「観光と経済」「都市と文化」を佐藤淳教授が担当。
・豊田欣吾兼担教授が就任。担当科目は「現代経済論Ⅱ」「マクロ経済学Ⅰ」「計量経済学Ⅰ」「計量経済学Ⅱ」「経済政策論」「財政学」。
・担当科目の調整のため、根本博兼担教授の担当科目「現代経済論Ⅰ」を古谷京一兼担教授が、「現代経済論Ⅱ」「財政学」を豊田欣吾兼担教授が担当。
・担当科目の調整のため、松井良雄兼担教授の担当科目「統計基礎」を後藤弘光兼担講師が担当。
・古谷京一兼担教授が就任。担当科目は「現代経済論Ⅰ」「マクロ経済学Ⅱ」「公共経済学」「金融論」。
・小里千寿兼担講師が准教授に昇格。
・担当科目の調整のため、塚崎玲子兼担准教授の担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を外し、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を追加。
・担当科目の調整のため、藤本祥二兼担准教授の担当科目「プログラミング基礎」「プログラミング」をゴータム・ビスヌ・プラサド兼担准教授と野田祐輔兼担講師が担当。
・ゴータム・ビスヌ・プラサド兼担准教授が就任。担当科目は「「プログラミング基礎」「プログラミング」「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」。
・小形優人兼担講師が就任。担当科目は「一般数学」「経済数学」。
・加藤里沙兼担講師が就任。担当科目は「経済学概論」「世界経済史」「国際経済」。
・後藤弘光兼担講師が就任。担当科目は「統計基礎」。
・多田邦宏兼担講師の学内異動に伴い、担当科目「スポーツ科学」を菊政俊平助教が担当。
・野田祐輔兼担講師が就任。担当科目は「プログラミング基礎」「プログラミング」「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」「情報マネジメント基礎Ⅰ」「情報マネジメント基礎Ⅱ」。
・平方裕久兼担講師が就任。担当科目は「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」。
・深堀遼太郎兼担講師の就任辞退に伴い、担当科目「経済学概論」「国際経済」を加藤里沙兼担講師が、「計量経済学Ⅰ」「計量経済学Ⅱ」を豊田欣吾兼担教授が担当。
・大西吉之兼任講師の就任辞退に伴い、担当科目「世界経済史」を加藤里沙兼担講師が担当。
・梶本逸子兼任講師が就任。担当科目は「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」。
・佐藤淳教授の就任に伴い、谷本亙兼任講師の担当科目「地域経済論」を佐藤淳教授の担当に変更。
・担当科目の調整のため、中原眞澄兼任講師の担当科目に「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を追加。

【令和３年度】

・担当科目を調整するため、大野尚弘教授の担当科目から「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を外す。
・担当科目を調整するため、佐藤淳教授の担当科目から「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」を外す。
・担当科目を調整するため、田中晴人教授の担当科目から「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」「FSP講座」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」を外す。
・担当科目を調整するため、土屋雅一教授の担当科目から「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」を外す。
・藤井秀樹教授が就任。担当科目は「財務会計Ⅰ」「財務会計Ⅱ」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」。これに伴い、渡邊誠士准教授の担当科目から「財務会計Ⅰ」「財務会計Ⅱ」を外す。
・担当科目を調整するため、米澤順一准教授の担当科目から「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を外す。
・令和3年度より高校教員免許（商業科）の取得が可能になったため、米澤順一准教授の担当科目に「商業科教育法」を追加。
・担当科目を調整するため、渡邊誠士准教授の担当科目から「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」を外す。
・担当科目を調整するため、上野学講師の担当科目から「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」を外す。
・児島記代講師が就任。担当科目は「会計学基礎Ⅰ」「会計学基礎Ⅱ」。
・筈井俊輔講師が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ」「FSP講座」「キャリアデザインⅠ」「ビジネス戦略」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」・これに伴い、田中晴人教授の担当科目から「ビジネス戦略」を外す。
・担当科目を調整するため、「ミクロ経済学Ⅱ」の担当を奥井めぐみ兼担教授から井手秀樹兼担教授の担当に変更。
・小田圭一郎兼担教授が就任。担当科目は「学修基礎Ⅰ」「経済学概論」「ＦＳＰ講座」「キャリアデザインⅠ」「現代経済論Ⅱ」「ミクロ経済学Ⅰ」「計量経済学Ⅰ」「計量経済学Ⅱ」。これに伴い、加藤里紗兼担講師から「経済学概論」、豊田欣吾兼担教授から「現代経済論Ⅱ」「計量経済学Ⅰ」「計量経済学Ⅱ」、奥井めぐみ兼担教授の担当科目から「ミクロ経済学Ⅰ」を外す。
・教育効果を考え、奥井めぐみ兼担教授の担当科目に「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」を追加。
・教育効果を考え、佐々木圭一兼担教授の担当科目に「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」を追加。
・教育効果を考え、豊田欣吾兼担教授の担当科目に「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を追加。
・教育効果を考え、古谷京一兼担教授の担当科目に「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」を追加。
・担当科目を調整するため、小里千寿兼担准教授の担当科目から「ＦＳＰ講座」を外す。
・令和3年度より高校教員免許（商業科）の取得が可能になったため、小里千寿准教授の担当科目に「職業指導」を追加。
・教育効果を考え、藤本祥二准教授の担当科目に「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」を追加。
・野田祐輔兼担講師の退職に伴い、松田聡浩兼担准教授が就任。野田祐輔兼担講師の担当科目「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「プログラミング基礎」「情報マネジメント基礎Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」「プログラミング」「情報マネジメント基礎Ⅱ」を松田聡浩兼担准教授の担当科目に変更。
・教育効果を考え、加藤里紗兼担講師の担当科目に「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」を追加。
・担当科目を調整するため、後藤弘光兼担講師の担当科目から「ＦＳＰ講座」を外す。
・教育効果を考え、平方裕久兼担講師の担当科目に「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」を追加。
・一色貴史兼担助教及び藤本索子兼担助教の就任に伴い、菊政俊平兼担助教の担当科目「スポーツ科学」を一色貴史兼担助教及び藤本索子兼担助教の担当に変更。
・中原眞澄兼任講師及び山本憲雄兼任講師の退職に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を小林花代兼任講師の担当に、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を宮永隆一朗兼任講師及び安田寛子兼任講師の担当に変更。

【令和４年度】

・担当科目を調整するため、大野尚弘教授の担当科目から「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」を外し，「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を追加する。
・新規科目開設に伴い，大野尚弘教授、井手秀樹兼担教授の担当科目に「デジタル経済」を追加する。
・佐藤淳教授の学内異動に伴い，佐藤淳教授の担当科目から「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」を外す。
・筈井俊輔講師の退職に伴い、担当科目「ビジネス戦略」を田中晴人教授の担当に変更。
・担当科目を調整するため，田中晴人教授の担当科目から「就業体験（インターンシップ等）」を外し，大野尚弘教授の担当科目とする。
・担当科目を調整するため、田中晴人教授の担当科目に「ビジネス・ケーススタディ」を追加。
・担当科目を調整するため、米澤順一准教授の担当科目から「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」「管理会計」「ビジネス・ケーススタディ」を外し，「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を追加する。
・担当科目を調整するため、渡邊誠士准教授の担当科目から「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を外し，「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」を追加する。
・担当科目を調整するため、上野学講師の担当科目から「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を外し，「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」「管理会計」を追加する。
・担当科目を調整するため、児島記代講師の担当科目に「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」を追加する。
・新規科目開設に伴い、児島記代講師の担当科目に「実践簿記Ⅰ」「実践簿記Ⅱ」「簿記論Ⅰ」「簿記論Ⅱ」「財務諸表論Ⅰ」「財務諸表論Ⅱ」を追加。
・林文慧講師の学内異動のため、担当科目「学修基礎Ⅰ」「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を外す。
・担当科目を調整するため、奥井めぐみ兼担教授の担当科目から「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」を外し，「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」「経済学概論」を追加する。
・担当科目を調整するため、小田圭一郎兼担教授の担当科目から「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」「経済学概論」を外し，「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を追加する。
・兼担教員の負担を軽減するため、笠間弘美兼担教授の担当科目から「ビジネス英語Ⅰ」「ビジネス英語Ⅱ」を外し，ポール・デービス兼任講師の担当科目とする。
・担当科目を調整するため、桑野裕昭兼担教授の担当科目から「ゲーム理論」を外し、小田圭一郎兼担教授の担当科目に変更。
・高橋啓兼担教授の退職に伴い、担当科目「FSP講座」「ボランティア体験」を外す。「ボランティア体験」は豊田欣吾兼担教授の担当に変更。「日本経済史」「地域振興論」「北陸経済産業論」は兼任講師として引き続き担当。
・ゴータム・ビスヌ・プラサド兼担准教授の職位を教授に変更。
・担当科目を調整するため、豊田欣吾兼担教授の担当科目から「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を外し，「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」を追加する。
・担当科目を調整するため、松井良雄兼担教授が再就任し、「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」を担当。
・担当科目を調整するため、古谷京一兼担教授の担当科目に「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」を追加。
・小西尚之兼担准教授の就任に伴い、高他毅兼任講師の担当科目「社会学Ⅱ」を担当。
・教育効果を考え、「スポーツ科学」の担当に、藤本索子兼担助教を外し、武石健哉兼担准教授及び中村英里子兼担助手を追加。
・小里千寿兼担准教授の学内異動に伴い，担当科目「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を松田聡浩兼担准教授の担当科目とし，「職業指導」を米澤順一准教授の担当科目とする。
・塚崎玲子兼担准教授の退職に伴い，担当科目「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を藤居真路兼担准教授の担当に変更。
・担当科目を調整するため，佐々木圭一兼担教授及び藤本祥二兼担准教授の担当科目から「キャリアプランニングⅠ」「キャリアプランニングⅡ」を外す。
・張江洋次郎兼担助教の就任に伴い，ゴータム・ビヌス・プラサド兼担教授及び松田聡浩兼担准教授の担当科目「プログラミング基礎」「プログラミング」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」及び「FSP講座」を担当。
・担当科目を調整するため、小形優人兼担講師の担当科目に「コンピュータ基礎演習Ⅰ」「コンピュータ基礎演習Ⅱ」を追加。
・担当科目を調整するため、加藤里紗兼担講師の担当科目から「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を外し，「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」「ビジネス・ケーススタディ」を追加する。
・新規科目開設に伴い，加藤里紗兼担講師の担当科目に「持続可能な発展論」を追加する。
・担当科目を調整するため、平方裕久兼担講師の担当科目から「学修基礎Ⅰ」「キャリアデザインⅠ」を外し、「学修基礎Ⅱ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」を追加。
・梶本逸子兼任講師の退職に伴い，担当科目「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を嶋村貢志兼担講師の担当に変更。
・担当科目の調整のため、宮永隆一朗兼担講師の担当科目「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を，村松直子兼担講師の担当に変更。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B’）
4 (4)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	4	2	2	0	8	0
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D’）
4 [0]	2 [0]	2 [2]	0 [0]	8 [0]	0 [0]	4 [0]	2 [0]	2 [2]	0 [0]	8 [0]	0 [0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授　65 教授以外　60 歳	3 名	3 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{8}{8} = 100\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{3}{8} = 37.5\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C’）}}{\text{設置時の計画（A’）}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	岡田　政則	R2.3	必修	学修基礎Ⅰ	①	R2.3学内配置の変更により就任辞退（２）
				必修	学修基礎Ⅱ	①	
				選択	FSP講座	①	
				必修	キャリアデザインⅠ	①	
				必修	キャリアデザインⅡ	①	
				必修	キャリアデザインⅢ	①	
				選択	コンピュータ基礎演習Ⅰ	②	
				選択	コンピュータ基礎演習Ⅱ	②	
2	准教授	岩井　恒太郎	R2.3	必修	学修基礎Ⅰ	①	R2.3自己都合により就任辞退（２）
				必修	学修基礎Ⅱ	①	
				選択	FSP講座	①	
				必修	キャリアプランニングⅠ	①	
				選択	キャリアプランニングⅡ	①	
				必修	会計学基礎Ⅰ	①	
				選択	会計学基礎Ⅱ	①	
				選択	商業簿記Ⅰ	①	
				選択	商業簿記Ⅱ	①	
				選択	税務会計Ⅰ	①	
				選択	税務会計Ⅱ	①	
				必修	基礎演習Ⅰ	①	
				必修	基礎演習Ⅱ	①	
				必修	演習Ⅰ	①	
				必修	演習Ⅱ	①	
3	准教授	坂東　貴夫	R2.3	必修	学修基礎Ⅰ	①	R2.3学内配置の変更により就任辞退（２）
				必修	学修基礎Ⅱ	①	
				必修	キャリアデザインⅠ	①	
				必修	キャリアデザインⅡ	①	
				必修	キャリアデザインⅢ	①	
				選択	英語コミュニケーションⅠ	②	
				選択	英語コミュニケーションⅡ	②	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3　人	必修	18	科目	必修	18 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	12	科目	選択	8 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	30	科目	計	26 科目	計	4 科目	計	0 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。

・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	佐藤　淳	R4.3	必修	学修基礎Ⅱ	①	R4.3.31付け学内配置の変更のため辞任（４）
				必修	キャリアデザインⅡ	①	
				必修	キャリアデザインⅢ	①	
				必修	キャリアプランニングⅠ	①	
				選択	キャリアプランニングⅡ	①	
				選択	観光と経済	②	
				選択	地域経済論	②	
				選択	まちづくり論	②	
				選択	都市と文化	②	
				必修	基礎演習Ⅰ	①	
				必修	基礎演習Ⅱ	①	
				必修	演習Ⅰ	①	
				必修	演習Ⅱ	①	
2	講師	筈井　俊輔	R4.3	必修	学修基礎Ⅰ	①	R4.3.31付け自己都合のため辞任（４）
				選択	FSP講座	①	
				必修	キャリアデザインⅠ	①	
				選択	ビジネス戦略	①	
				必修	基礎演習Ⅰ	①	
				必修	基礎演習Ⅱ	①	
				必修	演習Ⅰ	①	
				必修	演習Ⅱ	①	
3	講師	林　文慧	R4.3	必修	学修基礎Ⅰ	①	R4.3.31付け学内配置の変更のため辞任（４）
				必修	学修基礎Ⅱ	①	
				必修	キャリアデザインⅠ	①	
				必修	キャリアデザインⅡ	①	
				必修	キャリアデザインⅢ	①	

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
3　人	必修	19	科目	必修	19	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	7	科目	選択	3	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	26	科目	計	22	科目	計	4	科目	計	0	科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
6　人	必修	37	科目	必修	37	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	19	科目	選択	11	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	56	科目	計	48	科目	計	8	科目	計	0	科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{6}{8} = 75\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和３年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3　人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和2年4月に就任辞退した3名については、本人及び学内配置のやむを得ない事情により辞退することとなったと判断している。後任教員については、経営学及び経済学を専門とする教授1名、講師2名を任用しており手当ができている。令和4年4月に就任辞退した3名のうち2名については、経済学科の入学定員増による収定増に伴う学内配置変更によるものであり、現在、兼担教員として科目担当は継続している。辞任した1名については、本人のやむを得ない事情によるものと判断しており、その担当科目は他の専任教員の担当としている。
このように、専任教員の辞退による学生の履修に関する不都合は生じていない。また、教員が辞退することについて、学生便覧やシラバス等も適正に修正を行っており、学生が混乱することはなかったと考える。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和２年）	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	遵守事項	教員組織編制の将来構想について、認可申請書における設置の趣旨に記載した通り、完成年度を経て令和6年4月には、30～40歳代の准教授又は講師を採用する計画である。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(2)	履行中	開設時に60歳代以上の熟練教員を多く配置することとなったが、完成年度となる令和6年4月に向けて、30～40歳代の准教授又は講師を採用する計画である。その際、年齢構成が偏らないよう人員配置計画とする予定である。(3)
設置計画履行状況 調　　査　　時 （令和２年）	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。（人間健康学部健康栄養学科）	指摘事項 （改善）	教員組織編制の将来構想について、認可申請書における設置の趣旨に記載した通り、完成年度を迎える令和2年4月に主要な科目である公衆栄養学分野、給食経営管理分野、応用栄養学分野の教員を採用する計画としていたところである。一方、令和3年4月に人間健康学部健康栄養学科を廃止し、新たに栄養学部栄養学科を届出により設置する予定である。これらを両立する形で今後、段階的に、定年に関する規定を遵守することを第一に、上記分野の教員をいずれも40歳代から50歳代の教授又は准教授での任用を計画している。（2）	履行中	今後、任期満了あるいは定年等により60歳代の熟練教員が退職するに従い段階的に、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授又は講師を採用する計画としている。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(3)

設置計画履行状況調査時（令和２年）	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。（文学部教育学科）	指摘事項（改善）	学科の教員組織構成について、定年規程に定める専任教員の比率が高いが、新学科設置時には教育学に関する実績と経験を備えた教員が欠かせないことから、このような配置を行った。今後、この経験豊富な教員が30～40歳代の若手教員に教育学に関する知識や経験を伝え、完成年度を経て令和4年4月には、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用することを計画している。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(2)	履行中	履行状況に記載した経験豊富な60歳代以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、完成年度となる令和4年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。（3）
設置計画履行状況調査時（令和２年）	・入学定員未充足の改善に努めること。（文学部教育学科）	指摘事項（改善）	本学科を設置した平成30年度の定員充足率は0.49であったのに対し、平成31年度は0.89に改善した。さらに、今年度は定員を100名より70名に減じたことで、定員充足率が1.27となり未充足は解消している。引き続き学生募集活動において、近隣の高校に対して本学科の学修内容の周知を図り、入学定員確保に向けた学生募集に努めていく。(2)	履行済	

設置計画履行状況調査時（令和３年）	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから，定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに，教員組織編制の将来構想を策定し，着実に実行すること。（文学部教育学科）	指摘事項（改善）	学科の教員組織構成について、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の比率が高いが、新学科設置時には教育学に関する実績と経験を備えた教員が欠かせないことから、このような配置を行った。 今後、この経験豊富な教員が30～40歳代の若手教員に教育学に関する知識や経験を伝え、完成年度となる令和4年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用することを計画している。また、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(3)	履行中	履行状況に記載した経験豊富な60歳代以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、完成年度となる令和4年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。（3）
設置計画履行状況調査結果（令和４年）	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから，定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに，教員組織編制の将来構想を策定し，着実に実行すること。（文学部教育学科）	指摘事項（改善）	学科の教員組織構成について、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の比率が高いが、新学科設置時には教育学に関する実績と経験を備えた教員が欠かせないことから、このような配置を行った。 今後、この経験豊富な教員が30～40歳代の若手教員に教育学に関する知識や経験を伝え、完成年度となる令和4年4月に向けて、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用することに務めた。 その結果、令和3年5月1日現在、定年を延長して採用している教員数が47.61%であたものが、令和4年5月1日現在、38.88%に改善している。しかし、依然として高い割合であることより、今後も取り組みを継続する計画である。(4)	履行中	履行状況に記載した経験豊富な60歳代以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。その際、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。（4）
設置計画履行状況調査結果（令和４年）	多くの専任教員が就任辞退又は辞任しているが、原因分析や改善策が十分ではないため、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編成のため、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。（栄養学部栄養学	指摘事項（改善）	追加の書面調査に対して、就任辞退又は辞任の主な原因が、収束の兆しが見えないコロナ禍であることに起因している事を説明したが、今後、その対策として検討委員会を立ち上げ、効果的な改善策について検討を重ねることとしている。(4)	履行中	追加の書面調査に対して、就任辞退又は辞任の主な原因が、収束の兆しが見えないコロナ禍であることに起因している事を説明したが、今後、その対策として検討委員会を立ち上げ、効果的な改善策について検討を重ねることとしている。(4)

設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和４年）	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから，定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに，教員組織編制の将来構想を策定し，着実に実行すること。（栄養学部栄養学科）	指摘事項 （改善）	現在、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用することに務めている。 その結果、令和3年5月1日現在、定年を延長して採用している教員数が41.66%であたものが、令和4年5月1日現在、36.36%に改善している。しかし、依然として高い割合であることより、今後も取り組みを継続する計画である。(4)	履行中	履行状況に記載した経験豊富な60歳代以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。その際、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。（4）

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜経済学部　経営学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

本学では、ＦＤ活動は、学長指揮のもとで大学改革を推進するための学内組織「教育開発センター」が取り組むプロジェクトの1つに位置付けられており、これらを推進する組織として副学長を委員長とする大学ＦＤ委員会を全学的な委員会として設置し、活動を行っている。また、ＳＤ活動についても、大学ＦＤ委員会や担当事務職員が中心となり、ＦＤ活動との連携を重視しながら計画的に実施している。

※関係規程等

○金沢学院大学ファカルティデベロップメント（ＦＤ）委員会規程

施　　行　平成20年４月１日

（趣旨）
第１条　この規程は、金沢学院大学学則第24条の2並びに学校法人金沢学院評価委員会規程第8条の定めに基づき、金沢学院大学（以下「本学」という。）に設置するファカルティ・デベロップメント（ＦＤ）委員会(以下「委員会」という。)について、必要な事項を定めるものとする。
（任務）
第２条　委員会は、本学の教育研究活動の向上に関して検討を行い，その質的充実を図ることを目的として、次の事項を審議し、必要に応じて教学審議会の議に付する。
(1) ＦＤ活動の企画立案
(2) ＦＤ活動の実施計画の立案
(3) ＦＤ活動の点検
(4) ＦＤ活動に関する情報の収集と提供
(5) その他、理事長・学長の諮問する事項
２　委員会の承認のもとに、年度ごとに必要に応じた分野の小委員会を設ける。なお、小委員会は、委員会に検討・実施事項を報告するものとする。
３　委員会が必要と認める場合，併設校である金沢学院短期大学ＦＤ委員会と連携することができる。
（構成）
第３条　委員会は，原則として、次の各号に定める委員を以て組織する。ただし、必要がある場合、第3項が規定する小委員会委員の中から若干名を加えることができる。
(1)委員長
(2)委員（小委員長）　若干名
２　前項の委員長は学長が任命し、委員は委員長が委嘱する。
３　委員は、原則5名以内の小委員会委員を以て各小委員会を組織する。
（任期）
第４条　委員の任期は１か年とする。ただし，再任を妨げない。
（会議）
第５条　委員会は，委員長が招集し，議長となる。
２　委員長に事故あるときは、予め委員長が指名した委員がその職務を代行する。
３　委員会が必要と認めた場合は，委員以外の教職員の出席を求め，意見を聴取することができる。
（事務）
第６条　委員会に係る事務は，教務部が所掌する。

附 則
この規程は，平成20年４月１日から施行する。
附 則
この規程は，平成23年４月１日から施行する。
附 則
この規程は，平成25年４月１日から施行する。
附 則
この規程は，平成26年４月１日から施行する。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和３年度は、副学長を中心として各学部や事務職員から選出された委員からなる全学ＦＤ委員会を組織し、ＦＤ活動を教育開発センターのプロジェクトの１つに位置づけて取り組んだ。新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、委員を集めての会議はあまり実施していないが、必要に応じて書面付議による審議を行い、活動については、隔週で開催されている教育開発センター会議に委員長やプロジェクトリーダーが出席し、報告や意見聴取等を行った。

ｃ　委員会の審議事項等

教員の教育力の一層の向上を目指し、教育の実質化を図るために、定期的に開催するＦＤ／ＳＤ研修会の企画について議論を重ねている。また、ＦＤについてはピアレビュー改革プロジェクトを中心に、授業評価アンケートやピアレビューの実施方法について見直し、評価結果について集計・分析も実施している。

ＳＤについては、各部署の業務や、外部の研修会で得た知識等を共有できるような研修のあり方について、議論を重ねた。

②　実施状況

ａ　実施内容

①教員相互の授業参観及びピアレビュー

②授業評価アンケート

③ＦＤ／ＳＤ研修会

ｂ　実施方法

①前年度後期に引き続き、すべての授業期間をピアレビュー期間に設定し、教員全員がピアレビューのために授業を公開して、空き時間のある教員が参観した。その後、授業者とレビュアーによる意見交換の場を設けることとした。

②前期及び後期の2回、各期末に11項目の質問と自由記述によるオンラインアンケート調査を実施した。

③ＦＤ研修会・ＳＤ研修会

令和３年度は以下の要領で、併設の金沢学院短期大学と合同で全学的な研修会を実施した。

第1回ＦＤ／ＳＤ研修会
日　時：令和4年2月18日(金) 16:00-17:00
内　容：学生の学修環境の改善と授業改善について（教育力の向上）
※　Google Meet によるオンライン開催

第2回ＦＤ／ＳＤ研修会
日　時：令和4年2月25日(金) 15:00-16:30
内　容：障害学生支援における合理的配慮の基本的な考え方と支援体制（障がい学生支援）
※　Zoom によるオンライン開催
※　本研修会は、石川県障がい学生等共同サポートセンターと連携し、同センター主催の「第14回障がい学生支援セミナー」との共催とした。

上記の他、新任教員研修を３回開催している。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

教員相互のピアレビューは全教員を対象に実施しており、授業アンケートも全教員が対象となっている。

ＦＤ研修会およびＳＤ研修会への参加については、学長がリーダーシップをもって全員参加を呼び掛けている。そのため、やむを得ない出張や会議あるいは当番職員を除いて、必ず１回は研修会に参加できるよう工夫し、ほぼ全員が出席できるようにしている。各研修会の出席状況については以下のとおりである。

第1回ＦＤ／ＳＤ研修会　　出席者120名（大学教員98名　短大教員20名　事務職員1名　附属高校教員1名）
第2回ＦＤ／ＳＤ研修会　　出席者102名（大学教員81名　短大教員17名　事務職員4名）

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

これまで実施してきたピアレビューについては、全ての授業回を参観可とし、参観後は相互もしくはチームでディスカッションを行い、振り返りを重視することとしている。

また、平成30年度から準備を進めてきたアセスメントポリシーの策定に伴い、評価の適正化をはかるため、ルーブリックの導入も進めている。

今年度の研修会では、学生を取り巻く学修環境に注目し、前期に実施した授業アンケートの結果に基づいて、本学LMSの利用等ICT教育インフラの活用や、教員の板書・スライド教材のあり方など、学生からの要望が多かった点について重点的に取り上げた。障がいのある学生の修学支援については、石川県障がい学生等共同サポートセンターと連携し、「障がい学生支援セミナー」への参加を広く学内に呼びかけた。当日はセミナー会場である金沢美術工芸大学とオンラインで結び、修学支援の実務経験を有する外部講師による事例報告を中心とした講演を視聴した。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

前期及び後期の2回実施した。各期末に11項目の質問と自由記述欄を設けたオンラインアンケートを作成してURLを学内ポータルサイトに掲載した。学生には学内ポータルサイト及び各科目担当教員から呼びかけて、回答を求めた。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果については、教育開発センター会議において報告がされている。その内、早期対応が必要と思われる教員や授業については、学長の指示のもとで個別に指導・対応をしている。

なお、アンケートの集計結果については本学ホームページ「情報公開」において、学部・学科間での比較ができるような形で公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設初年度にあたる令和２年度から、本件改組の趣旨を達成できるよう、学生が自らの興味、関心を足がかりとして、学修を進める経験をとおして、主体的に問題を発見し、解を見出し、解決につなげていく力を修得できるように授業の工夫を行うこととしている。今年度から全学年で対面授業が再開し、学生とのやり取りが容易になっていることから、学生の主体的な学修を支える教育体制がより充実したものとなっている。1年次は経営学科として汎用性の高い学修となるよう配慮し、2年次以降は、それぞれの専門性を高める高度な学修につながるように配慮している。3年次ではゼミが始まり、担当教員の専門に応じた深い学びが期待できる。その結果として、学士力を担保しうる教育課程及び社会人・職業人として必要とされる力を備えた人材の育成を目指したい。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・令和４年５月末　公表（次回、令和７年９月末公表予定）

ｂ　公表方法

・大学ホームページ上に公開

③　認証評価を受ける計画

・令和１０年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和４年度）

ａ　公表予定の有無　〔　有　・　無　〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ　公表（予定）時期　〔　調査結果公表後１ヶ月以内　・　公表後２～３ヶ月以内　・　公表後３ヶ月以降　〕

ｃ　公表方法　〔　ウェブサイトへの掲載　・　その他（　　）　〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ　公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。